

## 単元名 手から手へ受け継ぐ(鑑賞)

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 形や色彩, 材料などが感情にもたらす効果や, 造形的な特徴や技法などを基に, 全体のイメージや作風で捉えることができる。
- (2) 人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り, 作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして, 美意識を高め, 見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り, 作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

11270104\_001

【準備等】 参考資料, ワークシート, タブレット, 視聴覚機器, 筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 伝統工芸品のよさに触れ, 未来について考える。</p> <p>○ 伝統工芸品に触れながら鑑賞し, 形や色彩, つや, 手触り, 重さ, 使い心地など, 感想を話し合わせる。</p> <p>★ 伝統工芸品をじっくり見て鑑賞し, 技の伝承について考えよう。</p> <p>○ 教科書の他作品も鑑賞し, 伝統工芸品の特徴やよさ, 美しさなどを感じ取る。</p> <p>○ つくる人の思いや使う人の思いについて触れる。</p> <p>○ 日本各地の伝統工芸品について知る。</p> <p>○ 手から手へ受け継がれる技や, 私たちの生活の中に生きる伝統工芸品のよさや未来について考える。</p>	<p>・ 地域の伝統工芸品で適切なものを選んで鑑賞教材として生徒に提示する。</p> <p>・ 提示する資料として, 大量生産によりつくられた身の回りのものと比較鑑賞させるなどの工夫をするなどよい。</p> <p>※ 南部鉄瓶とやかん, 漆器とプラスチックのカップなど</p> <p>・ 実際にお湯を沸かしてみたり, お茶を入れて飲んでみたりする工夫もあるなどよい。</p> <p>【評】 工芸作品とそれらを生み出す手による技の素晴らしさなどに関心を持ち, 生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして見方や感じ方を深める活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 身近なものと比較して考えさせることで伝統工芸品の特徴やよさ, 美しさ, 素晴らしさなどに気付かせやすくする。</p> <p>・ 形, 色彩, 材料, 技法, 印象などの具体的な視点を与えて比較鑑賞させる。</p> <p>【評】 形や色彩, 材料, 技法などに着目し, 作風や印象などで捉える活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ あらかじめ地域の伝統工芸品作家の方に取材をした, 制作に対する思いや制作の様子などを紹介する。</p> <p>・ 作家本人に来ていただいてお話していただくこともよい。</p> <p>・ 教科書の作者の言葉を参考に授業者が説明することもよい。</p> <p>・ 伝統工芸品を使っている人の感想や様子を合わせて紹介する。</p> <p>・ 教科書下P.53「受け継ぐ伝統と文化」について取り上げ, 日本各地の伝統工芸品についても紹介する。</p> <p>・ 後継者が少なくなっている現状を知らせ, 生活スタイルが変化していく中で, 優れた伝統工芸品の技が受け継がれ, 生活の中に大切にされていくという価値観を広めていくためにはどうあればよいかを話し合わせる。</p> <p>【評】 人の手による技の素晴らしさや作品の美しさを感じ取り, 作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして, 美意識を高め見方や感じ方を深める活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

本単元は, 安価な素材で大量生産されるものや, 消費することで便利さを追求したりするものが多く出回る世の中にあって, 素材にこだわり, 自然や地域の文化を生かしながら一つ一つが人の手による技と, 心を込めてつくられた日本の伝統工芸品のよさや美しさ, つくる人の思いなどの素晴らしさを感じ取らせる題材である。伝統工芸品のよさは本物に触れることで感じ取ることができる。生徒には本物の色やつや, 手触り, 重さ, 形などのよさを実感させながら味わわせ, つくる心と使う心を大切にしていけることを学ばせる。